

マイナビ電子書籍・VOD比較 映画「ハリー・ポッターと賢者の石」の感想 調査

 「ハリー・ポッターと賢者の石」の感想・評価を調査！



完全無料配信中！

5.0



Aさん: ★★★★★

最初本を読んで映画を見ました。想像した通りの映画になってうまく作られているなと思いました。細部もしっかり再現していて、役者の方々も適役な方をそろえていて、いい出来の映画だったと思います。シリーズ作目で一番シンプルで見やすい設定でした

Mさん: ★★★★★

ハリー・ポッターシリーズの原点、一番魔法の世界のキラキラやワクワクを感じることができるのでシリーズの中で一番好きな映画です。小さい頃はこの映画を見て魔法使いになりたいと思っていました。そして、大人になってから見ると、両親からの愛や周りの人の支えがあって自分が成り立っていると感じることができました。

Oさん: ★★★★★

ワクワクドキドキが止まらない映画です。子供の頃から好きですが、見ていて夢のある内容だなと思います。登場人物一人一人も個性があり、見ていて飽きません。何度見ても面白いです。スリルも満点で誰でも楽しめる内容となっています。私にも子供がいますが、大きくなったら是非見せたいと思う作品の一つです。

Sさん:★★★★

魔法世界を舞台にした作品がまだ珍しくとても新鮮だったこともあり、今見ても面白さが感じられる。まだ若い主人公たちが活躍するのとても可愛らしく、こういう先駆的な部分もありたくさんのファンが生まれたのだと思う。美術は児童向けとは思えない位凝っている。幼少期に見ていたら絶対ワクワクするだろうと思う。

Nさん:★★★★★

普通の男の子として平凡に暮らしてきたハリー・ポッターが、ある日自分は魔法使いだと知らされその世界を知っていく様子を見ていると、いつのまにか自分もハリーと同じような気持ちになり本当に現実に存在しているのではないかと思ってしまうおもしろさがあった。

Tさん:★★★★★

作品を追うごとに成長して大人になっていくダニエルラドクリフですが、まだ可愛い姿の第一作目です。とても勇敢なハリー、ロン、ハーマイオニーの姿を見ることができ、自分自身も挑戦する事の大切さを教えてくれます。

Nさん:★★★★★

魔法の世界に初めて足を踏み入れるという意味で1番ワクワクする作品です。「自分が魔法使いだったなんて」そこからストーリーは急展開していきます。寮制度などイギリスの文化も感じられます。小説では宴会で美味しそうな食べ物の紹介がされているのですが、映画でもよく再現されています。後半は両親を殺した宿敵と戦うことになるのですが、その存在はとても身近なところにいた、というまさかの展開でした。

Oさん:★★★★★

とっても面白いです。私は原作から大好きな人間なのですが、原作を読んだことがなくても楽しめると思います。子どもから大人まで、わくわくできる魔法の世界が広がります。賢者の石はシリーズ1作目で、ここからの伏線が、最終7作目まで張り巡らされているのでぜひ観てほしいです。私はhogwartsからの手紙が吹き荒れるシーンが特に好きです。

Eさん:★★★★

ファンタジーで中世的な世界観がすごく魅力的な映画だと思います。ハリーポッターシリーズの一作目ということもあって普通の人間の世界と魔法の世界の対比が他のナンバリングよりも重視されているという印象があります。特に小物のこだわりが強く、羽ペンを使ったり、箒を使ったり、ローブを羽織ったりと現代からかけ離れた道具を常用しています。そのため世界観への没入感が強く感じられる映画になっています。

Jさん:★★★★★

まだ幼い子供ながらに友達や、世界を救うため、自分を殺そうとした敵に立ち向かう主人公の勇敢な姿に感動させられました。また、敵に立ち向かうため、数々の試練と戦うシーンでは、ゲームや運動神経、知力など、主人公たちが力をあわせて解決していく様は見ているととても面白かったです。

Aさん:★★★★

誰でも一度は見たことある映画だと思います。

ハリー、ロン、ハーマイオニー、マルフォイのあどけなさが堪らなく可愛いです...

この2~3作後からストーリーがかなり重くなってくるので、賢者の石に戻って気楽にハリポタを見直したくなる日が何回もあります！

長尺作品ですが、ストーリーも簡単なのでながら見でも楽しめます！

Mさん:★★★★★

ハリポッター作品を毎日見ていた私はやはり第1作品である賢者の石が大好きである。

ダニエル・ラドクリフはじめ今では大女優のエマワトソンも出演。

第一作を見るともう次が見たくて仕方なくなるくらい言葉では表せないほど面白い作品です。

Kさん:★★★★

シリーズの最初の作品です。魔法の世界とはどんなものか、ましてやそこにある学校とは、というワクワクした気持ちで観ました。

個性的なキャラクターたちや、敵の存在の不気味さとも相まって映画の世界にのめり込んでしまいました。

Nさん:★★★★★

中学生の頃に映画館で見ました。広告やCMでがサン中心で主人公だと思っていたら序盤に出てこなかった記憶でいます

人間の文明の発達と森の生き物への等の生態系に対する影響を考えさせられました。

ストーリー構成は段階的でわかりやすく結末もしっかりと完結している印象でした。

Bさん:★★★★★

『ハリポッターと賢者の石』は、J.K.ローリングによる魔法の世界を描いたシリーズの第一作目です。この作品は、魔法学校ホグワーツに入学した少年ハリポッターの冒険を描いており、彼が自分の過去や特別な力について知る物語です。

特にその世界観の設定は作りこまれており、ハリポッター登場以前の歴史もあり、それを知ることによって作品をより深く楽しめます。

Pさん:★★★★★

ハリーが、動物園に行った時、蛇を話をするシーンもリアルで、凄かったです。

ハリーが、学校に通うシーンで、色んな仲間と出会ったシーンも、良かったです。

事件を解決していく所も、かっこよかったです。

いい作品です

Xさん:★★

ファンタジー映画としてみると神話とか、ファンタジーに登場する生物が出てこないのが、どっちかという魔法がある世界で学園ものの青春みたいなものを謳歌しているという感じの映画に見えました。バリバリのファンタジー、「ユニコーン奇跡の航海」なんかと比較すると肩透かしで、登場人物の多くが「ピバリーヒルズ青春白書」みたいな感じで普通の人に見えます。

Mさん:★★★★★

2000年頃に、世界で読まれている本の中で桁外れの売上げしていると聞いた時に、その本を読みたいと思い、本屋さんへ行ったところ、丁度、映画の上映があるという噂を聞きました。映画は、本に忠実に映画化されていました。映画は、私の想像を超えた迫力感のある強烈な印象を与えてくれました。11歳の少年が、立ち向かう謎の魔法使いとの死闘の場面では、勇気ある少年の姿を覗き込ませてくれました。

Sさん:★★★★★

魔法物であることから、一見すること子供向けに思える。そして、実際に子供が見ても楽しめる。しかし、大人が見ても楽しめる仕掛けも多い映画である。たとえば、物語の伏線が随所に散りばめられていることから、一つひとつの表現の意味を考えつつ感謝することが出来る。

Gさん:★★★★★

世界的に有名になった小説の映画作品。主人公たちが大人に成長していくのが自分と重なり、気持ちを寄り添いながら一緒に冒険が体験できる心がワクワクするファンタジー映画です。誰もかが憧れた魔法の世界。こんな魔法が使えたらいいなと子供心に戻れます。

Nさん:★★★★★

ハラハラドキドキする展開に目が離せません！見ていて少し心が痛くなる場面もありましたが、それ以上にストーリーが面白く、非日常を味わえる感覚があり、とても大好きな作品です。作り込まれた世界観が素晴らしく、とても引き込まれる映画です。

Sさん: ★★★★★

とにかくハリー自身がものすごく可愛くて、本当にお人形さんみたいです。あのクリクリとした目が本当に最高でした。ロンやハーマイオニーたちもまだ幼くて、映画なのですがどこか絵本を見ているような感覚になることもあります。そしてシリーズの中でも一番印象に残るシーンが多い映画なので、やはり最初に見るのはこれかなと思います。

Tさん: ★★★★★

ハリーポッターは全部で8種類あります。この賢者の石というのは一番最初のストーリーです。ハリー・ポッターが主人公であり、ホグワーツ魔法魔術学校へ入学をして、そこから友達も作り、ハリーの物語が始まっていくのである。ぜひおもしろいので見ていただきたいです

Mさん: ★★★★★

私のハリーポッター人生の始まりの作品です。当時、小学生低学年だったので話の深いところまでは理解出来ていませんでしたが、魔法界のワクワクやドキドキした感じにとっても憧れて、ホグワーツからの手紙を心待ちにしました。まさに初めてダイアゴン横丁に行った時のハリーと同じ心境で見っていました。大人になった今でもやはり心ときめくシーンばかりで、魔法界や魔法生物はあるかもしれないと思わせてくれます。

Hさん: ★★★★★

「ハリー・ポッターと賢者の石」は、孤児のハリーが、ホグワーツ魔法学校での新たな生活をスタートさせる様子が、冒険と魔法の魅力と共に描かれます。美しいセットと緻密なCG映像が、魔法の世界をリアルに表現し、キャラクターたちの成長と友情が感動的です。ハリーと彼の仲間たちが直面する試練や謎解きが、観る者を引き込む魅力的なストーリーで、ファンタジー映画の傑作として楽しめます。

Mさん: ★★★★★

自身が魔法使いであることを初めて知った、孤独な少年ハリーが、11歳の誕生日を迎えた日に受け取った一通の手紙。その手紙をきっかけに、魔法界への生活に足を踏み入れることになるハリーの体験に、いつしか見ている側も次は何が起こるんだろう、どんな魔法の世界が広がっているんだろう、とドキドキワクワクが止まりませんでした。

Bさん: ★★★★★

主人公のハリーが初めて家族以外の人と関わりながら暖かい環境の中で育っていく姿が見られる作品だと思います。また、登場人物のロンとハーマイオニーと一緒に冒険していくことにより、友達の大切さや信頼関係など、友情と愛情を同時にハリーが知ることができるシーンが何度もあり、改めて身近な人の大切さを実感できると思います。そして、正しいことを認めてくれる環境もあり、失敗は成功のもとと言われるような作品です。

Jさん:★★★★★

映画「ハリーポッターと賢者の石」は「ハリーポッター」シリーズの大ヒットにとってとても重要なものです。主人公ハリーが入学の準備をし学校に着くまでのシーケンスは本当に素晴らしいです。駅舎、汽車、風景、学校そしてキャラクターすべてが素晴らしく最高に興奮します。「ハリーポッター」シリーズの世界観をがっつりつかまれまた歴史的な映画です。

Hさん:★★★★

意地悪な叔父叔母のもとで暮らしていたハリーのもとへ、魔法学校からの入学案内が届くことから始まります。記念すべき最初の話で、まだ幼く、他の生徒と一緒に魔法を学びながら両親が亡くなった時のことなどを知らされます。魔法学校とはこんな感じという楽しさが詰まっています。

Sさん:★★★★★

メインの3人が、最終章まで交代なく演じてくれてありがたかったです。小説を先に読んでいましたが、ハリーもロンもハーマイオニーも、そのまま本から出てきたみたいにイメージピッタリでした。ペチュニア伯母さんが少し華やかでしたが、ダドリー家やウィーズリー家、先生たちもそれぞれイメージ通りでホグワーツの雰囲気もワクワクしました。2時間でなく前後編や10時間ドラマにしてほしかったです。

Yさん:★★★★★

原作も読んだが、原作にあるたくさんの要素や長いストーリーを反映させるために序盤がかなり話の流れが早く、公開当時幼稚園歳だった私には理解が難しかった。ただ、シリーズ作目とあって、魔法界という未知なる世界の驚きやワクワクが詰まっており、友情の素晴らしさを教えてもらった作品の一つでもある。